

6月度生涯研

医科・歯科連携の実践を解説

糖尿病や動脈硬化 データ集め診療報酬増呼びかけ

歯科との関わりで

申 氏

保険医協会が取り組んでいる医科・歯科連携は、歯周病の治療を通じて全身疾患を改善させることと診療報酬を引き上げることが目的。協会が13日、M&Dホールで開いた「全身疾患を持つ患者の歯科Q&A―医科歯科連携の実践（6月度生涯研）」で講師の申偉秀氏（医師・東京保険医協会理事）は、糖尿病や動脈硬化が歯周病と深く関わっていることの共同研究データを集めて厚生省に働きかけていくことを呼びかけた。

申氏は始めに、糖尿病が歯周病に悪影響をもたらすことは広く知られているが、近年反対に歯周病が糖尿病を悪化させる

報告が相次いでいる、東京医科・歯科協会の共同研究でも、相関関係が得られている。より多くのデータを集めエビデンス

を示し、厚生省に歯科診療報酬引き上げを要請していくことが連携の目的であると強調した。

「医科歯科ナビ」使い 日常の疑問にこたえる

また、申氏は、東京の医科・歯科協会と千葉協会がまとめた『医科歯科

連携ナビゲーション』を使い、高血圧症、糖尿病、抗血小板薬・抗凝固薬・気管支喘息・骨粗鬆症で医科で使う薬剤の特徴と歯科治療時の注意点を述べた。

（歯科用）を示しながら連携のポイントを指摘した。歯科における処方で

は、ニューキノロン系剤と非ステロイド抗炎症剤との併用でけいれん発作があることや、ぜん息患者への6つの注意点を述べた。

「医療どお～ナル」 7月 歯科が担当

サンテレビ・毎週木・15:55～



保険会社を舞台とした撮影風景。正面がナビゲーターの寺谷一紀氏

7月のテーマは…

個人情報情報が危ない！

明細書から漏れるあなたのすべて

放送終了分は協会HPで視聴できます。http://osk-net.org

歯界

サッカーは一つのボールでたくさんの子供が遊べる。金をかけて習わなくても自衛できる部分の多いスポーツだから世界中に普及した。

このトレンドを見逃さないFIFAの商魂と野心は、医療人とは別種生物の属性とも言える。サッカー等のスポーツだけでなく受験など特別な教育を受けなくても文芸や美術なら努力と才能だけで物になりそうだが、そうもいかない。人間社会では免許証や正当な経歴などの権威によるサポートなしでは、よほどの幸運がないとチャンスも巡ってこない。体力があっても徒手空拳でやるのなんか文字どおり拳闘選手くらいしかない。

スポーツは今や世界中の若者が夢を託する人生の突破口になっており、成功者の末は国政さえ託される。スポーツ振興をスローガンに国会議員になる人も多いが、元来スポーツは勝者敗者の競争世界。昨今はやりの市場競争原理は絶対価値ではなく弱者救済や福祉を伴って有意となる。

医療・社会保障

2010 参院選

二宮厚美 神戸大学教授



鳩山政権に代わる菅政権は、民主党支持率のV字型回復をもたらした。その最大の要因は、大半のメディアが新政権を「小沢切り」の斬新なイメージで描き出したことに求められるだろう。

鳩山政権に代わる菅政権は、民主党支持率のV字型回復をもたらした。その最大の要因は、大半のメディアが新政権を「小沢切り」の斬新なイメージで描き出したことに求められるだろう。

鳩山前政権の支持率低下を招いたいま一つの大きな要因は、社会保障・福祉分野において、公約通り「脱構造改革」に向けて路線の転換を図ることができなかった点にあった。例えば子ども手当の満額支給の断念、OECD諸国並み医療費充実に

政治はこの公約違反を受け継ぎつつ、これを政策的争点から外して、参院選を乗り切ろうとしている。鳩山前政権の支持率低下を招いたいま一つの大きな要因は、社会保障・福祉分野において、公約通り「脱構造改革」に向けて路線の転換を図ることができなかった点にあった。例えば子ども手当の満額支給の断念、OECD諸国並み医療費充実に

保障」のキャッチフレーズで参院選に臨もうというのが、新政権の作戦となる。問題なのは、「強い経済・財政・社会保障」のいわば三位一体的構築を何によって図ろう

うというのが、参院選を前にして菅政権が打ち出した選択肢である。この路線は、実は、自民党や「たちあがれ日本」の新党等と共通のものであるから、菅政権のねらいは

したがって、来たる参院選では、「強い社会保障」とはいかなる財源によって構想されるのか、これが一大争点になるだろう。

民・自・新政党が増税競争

財源が消費税では、弱い社会保障に

きな要因は、社会保障・福祉分野において、公約通り「脱構造改革」に向けて路線の転換を図ることができなかった点にあった。例えば子ども手当の満額支給の断念、OECD諸国並み医療費充実に保障」のキャッチフレーズで参院選に臨もうというのが、新政権の作戦となる。問題なのは、「強い経済・財政・社会保障」のいわば三位一体的構築を何によって図ろう

したがって、来たる参院選では、「強い社会保障」とはいかなる財源によって構想されるのか、これが一大争点になるだろう。

4・5・6面に参院選特集

（争点解説・候補者アンケート・特別寄稿）

付録・最新の疑義解釈

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。（郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください）